

2023年2月21日

## インド商工省特別次官による統合インフラ開発計画及び

### 国家ロジスティクスポリシーセミナーのご案内

インドはJBICによる海外直接投資アンケートで、長期的な有望国として2010年から13年間連続で1位であり、中期的有望国としても1位に返り咲く等、日本企業からの注目が日増しに高まりつつあります。インド政府は脆弱と言われてきたインフラ開発に対して国家インフラ開発計画を発表するなど巨額の予算を投じており、デリー・ムンバイ間においては貨物専用高速鉄道や高速道路等のインフラ建設も急ピッチで進んでいます。

並行して、インド政府及び政府機関のほか、JBICも26%の出資を行い設立されたインド産業回廊開発公社(NICDC)が司令塔となり、インド中央政府が自ら資金を投じ、各州政府が一体になって開発する質の高い工業団地開発が進んでおり、その一つであり、インド政府が特に注力するグジャラート州ドレラ工業団地では、インド初となる国産半導体製造拠点の設立も予定されています。

このたび、インド商工省のロジスティクス担当特別次官でありNICDC 総裁であるスミタ・ダウラ次官及びアビシエク・チャウドリ NICDC 副総裁が、NICDC 工業団地運営主体(中央政府50%、州政府50%出資のSPV)の幹部とともに来日し、直接インドの統合インフラ開発計画及び国家ロジスティクスポリシーや各NICDC 工業団地について紹介するセミナーを開催することとなりました。

本件は日本企業向けビジネス環境の改善を積極的に推進するナレンドラ・モディ首相やピユシュ・ゴヤル商工大臣の命を受けたミッションであり、これをダウラ特別次官・総裁とのネットワーキングの機会ともして頂くべく、懇親会も含めた原則対面式(ZOOMでのウェブ参加も可能といたします)でのセミナー開催を予定しておりますところ、ぜひ日本企業の皆様のご参加をお待ちしております。

### 記

1. 日時: 2023年3月14日(火) 14時~17時(日本時間)

※14時~16時はセミナー(ウェブ参加可)、16時からは懇親会を予定

(アジェンダ)

14:00~14:05 JOI 理事長小杉による開会挨拶

14:05~14:15 NICDC ダウラ総裁によるキーノートスピーチ

(インド統合インフラ開発計画及び国家ロジスティクスポリシー)

14:15~14:30 JBIC ニューデリー事務所首席駐在員栗原(NICDC 社外取締役)

によるインドビジネス環境及びNICDC についての紹介

14:30~15:00 NICDC チャウドリ副総裁によるNICDC 取組みの紹介

15:00~15:30 グジャラート州ドレラ工業団地をはじめとするNICDC 工業団地の紹介

15:30～15:45 質疑応答

15:45～15:50 JBIC 役員による閉会挨拶

16:00～17:00 懇親会（軽食をご提供いたします）

2. 会 場：如水会館（東京都千代田区一ツ橋 2-1-1）  
セミナーはウェブ参加（ZOOM）可（後日リンクをお送りします）
3. 主 催：株式会社国際協力銀行（JBIC）  
共 催：一般財団法人海外投融資情報財団（JOI）  
インド産業回廊開発公社（NICDC）
4. 参加費：無料（現地までの交通費、宿泊費等については各自でお支払いください。）
5. お申込：メールに下記事項を和文及び英文で記載の上、3月10日（金）までにお申込先にお送りください。  
①氏名 ②会社名・役職名 ③電話番号 ④メールアドレス  
⑤対面式又は ZOOM いずれでの参加をご希望されるか

お申込先：JBIC 渋谷さくら

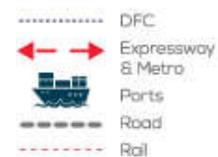
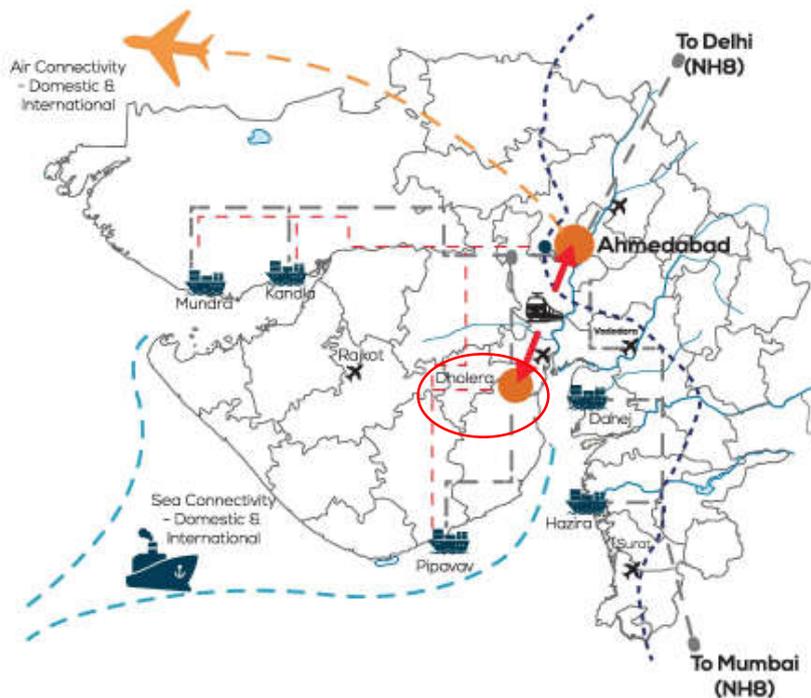
メール：s-shibuya@jbic.go.jp

電 話：+91-99039-46755

以 上

## ドレラ工業団地

概要	モディ首相の出身地グジャラート州で、インド政府が注力する工業団地プロジェクト。同工業団地にてインド財閥の Vedanta グループと台湾のフォックス・テクノロジー・グループが半導体の製造を開始すると発表済みであり、半導体等新規ビジネスの広がりが期待される工業団地。
立地	アーメダバードより約 2 時間半。2023 年の開通を目指し高速道路の開発を実施中。高速道路の開通によりアーメダバードからの移動時間が 1 時間に短縮される予定。ドレラ国際空港 (2025 年度運営開始予定) から約 15km
総面積	約 920 km <sup>2</sup> (91,970 ha)
インフラ	団地内に薬局、ガソリンスタンド、EV 充電ステーション、タクシー・リキシャスタンド、駐輪場、公衆トイレ、パブリックアートスペース、映画館、アングンワディ (インド版保育所)、カレッジ等建設予定
Web サイト	<a href="https://dholera.gujarat.gov.in/">https://dholera.gujarat.gov.in/</a>



## AURIC シェンドラ工業団地・ビドキン工業団地

**概要**                    マハラシュトラ州政府とインド政府が共同で設立した「Aurangabad Industrial Township Limited (AITL)<sup>※1</sup>」が開発を手掛ける。シェンドラ<sup>※2</sup>とビドキンの2工業団地の総称を「Aurangabad Industrial City」とし、その頭文字をとって通称 AURIC と呼ばれる。

※1    マハラシュトラ州政府51%、インド政府49%の出資により設立。

※2    隣接するマハラシュトラ産業開発公社 (MIDC) シェンドラ工業団地とは別です。

### ・ AURIC シェンドラ工業団地

**立地**                    マハラシュトラ州・アウランガーバード空港から車で約30分  
ムンバイまで約390 km、ナバシェバ港まで約375km

**総面積**                約9 km<sup>2</sup>

**インフラ**              団地内に変電所、浄水施設、中央排水施設、下水施設、光ファイバー、各施設は中央監視センターにてSCADAで管制、AURICホール（会議室、食堂、銀行ATM、ジムなど）が利用可



中央監視センター内部

**Web サイト**        <https://www.auric.city/>

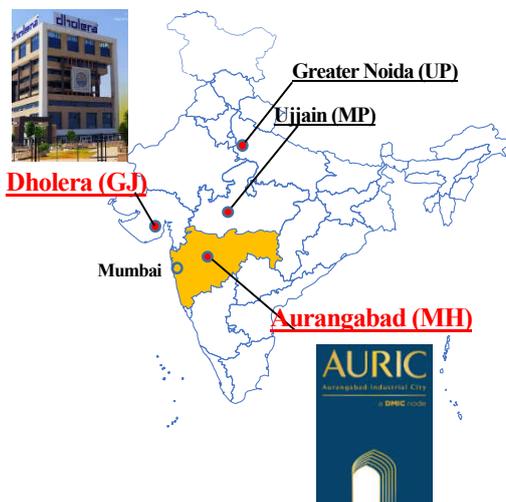
### ・ AURIC ビドキン工業団地

**立地**                    マハラシュトラ州・アウランガーバード空港から車で約1時間  
ムンバイまで約365 km、ナバシェバ港まで約355km

**総面積**                約32 km<sup>2</sup>

**インフラ及び Web サイト**はシェンドラ工業団地同様（AURICホールは無し）

### DMICDC の関わる4工業団地



### アウランガーバード近郊地図

